



宮田小だより



み:自ら進んで学ぶ子 や:優しい心で助け合う子 た:たくましく粘り強い子
9月号 No11 令和2年9月11日 市川市立宮田小学校

学習評価の充実に向けて

校長 本多 妃佐子

今日(9/7)も、熱中症アラートが発令され、校庭や講堂での体育やその他の活動が制限されています。アラートが前日もしくは当日午前5時までに発令されますと、教頭先生が朝の会の時に、全校に放送で知らせてくださいます。すると、教室から「あー」「えー」「ひょえー」など、残念で仕方がないといった声が聞かれます。先生方は、体育は言うまでもなく、理科や生活科など屋外での活動ができなかった場合の授業準備もしています。でも、子供たちが一番残念なのは休み時間でしょうか。

読書をする、お絵かきをする、粘土をする。宿題を済ませてしまう。クラスによっては学級会で話し合っ、「すごろく」を作ったり、危険のないようにハンカチ落としをしたり、工夫して過ごしているようです。

さて、年度の振り返しを迎え、「学習評価」についてお話を少ししたいと思います。学習指導要領の改訂、完全実施に伴い、これまでの知識重視の考え方から、実際に課題を発見し、筋道立てて考え、調べ、まとめて解決し、他者へ発信する力(思考力・判断力・表現力)を大切に、学びに向かう力、学び続ける力が重視されています。新しい学習指導要領において、各教科等の目標及び内容が、育成を目指す3つの資質・能力の柱に沿って整理されたため、学習評価の在り方も大きく改善されたことは周知のとおりです。通知表の「観点別学習状況の評価」がこれまでの4観点から3観点到整理されました。

学習評価は、子供たちの評価・改善のためだけではなく、教師の指導改善につながるものです。1時間の学習の中で、また一つの学習のまとまりの中で、子供の変容や到達度を評価しつつ、指導の充実に生かして、「指導と評価の一体化」を目指してまいります。通知表につきましては、形式等も新しくなります。保護者会で担任より説明します。

学校徴収金の集金方法の変更

令和3年度から学校徴収金の集金方法が変更されます。これまでは、「給食費」「学級費」「積立金」「教材費」「PTA会費」等を、PTA本部役員・会計委員のご協力により、学校ごとに現金で集金していましたが、金融機関による口座引き落としになる予定です。市内の小・中・義務教育学校・特別支援学校等で、一斉に実施できますよう検討準備を進めています。

詳細が決まり次第、お知らせします。

6年 校外学習について

宿泊学習は中止になりましたが、感染症の予防にできる限り配慮して、校外学習を実施します。状況によって変更・中止もあります。

- 1 日時 10月23日(金)
7:00~17:00予定
- 2 行先 日光 華厳の滝 東照宮
- 3 その他
 - ・一人2座席分を使用 バス4台
 - ・事前に保護者に欠欠の確認を文書でとる
 - ・事前事後健康観察を確実に



初めまして みやたんです よろしく

創立70周年記念キャラクターに多くの応募がありました。第3回実行委員会で、5つの候補に絞られ、全校の皆さんに投票してもらいました。

その結果、2年1組の金子 糸さんの作品「みやたん」に決定しました。

宮田っ子が未来へはばたけるように、大きく手を広げたキャラクターを考えました。



応募してくれた児童の皆さん、投票してくださった多くの皆さん、そして、実行委員会の皆さん、ありがとうございました。

「コントラバス」の演奏 5年音楽科



鑑賞の学習で、「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」第1楽章を子供たちの前で演奏してもらいました。演奏者は本校事務職員 平田桃子先生です。

迫力ある形状と、重厚な音色に子どもたちは興味津々でした。

「楽器の木は、何を使っているのですか。」

「弦は何からできているのですか。」

「何曲くらい弾けますか。」

「練習は毎日何時間くらいしますか。」・・・

子どもたちの質問は尽きません。この大きな楽器を背負って、満員電車の中、運んでくださいました。

「アマビエ」が感染症退散

毎朝、学区のごみ拾いと挨拶をしてくださる古越さんから、「アマビエ」のポスターを3枚いただきました。アマビエは日本に伝わる妖怪で、豊作や疫病などに関する予言をしたと伝えられています。

弘化3年に肥後の国の海中から現れて、「疫病が流行したときに、私を写して、人々に見せなさい」と言って、海中へ戻っていったとの言い伝えがあります。

2枚は、さっそく校長室前に飾って、皆さんに見てもらっています。コロナ禍から、より多くの人々を守ってほしいと考え、新校舎推進会議でお世話になっている教育委員会学校環境調整課にも1枚飾っていただきました。



密を感じ取って

授業参観・懇談会ありがとうございました。感染症に対する認識は、各自によって温度差があります。学校の行事を決めるにあたって、感染症防止対策で三密を作らないことは鉄則です。学校に子供以外の保護者や外部の人を入れることは、高いリスクがあります。授業参観は実施の予定のない学校もあります。しかしながら、子供の様子を見ていただきたいと、宮田小では対策を講じて実施しました。3校時と4校時の間の休み時間は、明らかに密の状態でした。子供と保護者、保護者と保護者で、その時間に話す必要があったのでしょうか。

もし、感染症を招いてしまう原因になるとしたら、学校行事はなくす方向で考えなくてはなりません。厳しいことを言うようですが、学校の方針を再考する必要があります。

宮田小学校 新校舎推進会議だより

市川市立宮田小学校
新校舎推進会議
第1号
令和2年9月1日

宮田小の現在の校舎が落成したのは昭和35年です。市川市で一番初めに、千葉県下でも、津田沼小学校に次いで2番目の鉄筋校舎でした。

月日を重ねること、60年が過ぎました。明るい校舎できれいに手入れをしながら大切に使用してきましたが、市川市の公共施設個別計画により、学校施設は順次建て替えを進めることになっています。宮田小は、市内で最も古いことから一番目に建て替えを計画しています。

市内の新校舎建設のスタートモデルになります。

学校施設は教育の場であるとともに、地域のシンボルとしての役割や地域コミュニティ形成の中心になるなど、地域のいわば核といえます。そのため、学校・家庭・地域が一体となって建て替えに取り組むことが求められます。

前回の学校だよりでお知らせしました通り、下記の委員の皆様と市川市教育委員会 学校環境調整課 教育施設課と会議を進めてまいります。

委員の皆様の紹介

	氏名	所属
座長	柳澤 要	千葉大学大学院工学研究院 教授
宮田小学校	酒井 正弘	新田2・3丁目自治会 会長
	内田 定行	新田4丁目子ども会 会長
	大島 彩	大洲中BCC 事務局
	高橋 昌代	市川南・大洲 主任児童委員
	尾川 健司	市川南子ども会 会長
	大久保 恵子	新田2・3丁目子ども会 副会長
	坂本 道子	市川市立宮田小学校子ども教室 代表
	大導寺 京子	市川市立宮田小学校同窓会 事務局
	鹿島田 ひとみ	市川市立宮田小学校 PTA会長
	刈屋 真理	地域学校協働活動推進員
	山口 敏子	元市川市立真間小学校 校長
	腰本 和代	私立共立幼稚園 園長
大洲中学校	本多 妃佐子	市川市立宮田小学校 校長
	山崎 秀樹	市川市立宮田小学校 教頭
	松井 聡	市川市立大洲小学校 校長
大洲幼稚園	佐々木 和夫	市川南自治会 会長
	安東 俊明	新田4丁目自治会 会長
	武井 清健	市川市商店会連合会 会長
大洲幼稚園	田代 美香絵	市川市立大洲幼稚園 園長



創立当時の校舎
周りにも高い建物
はありませんでした。



旧別館校舎
別館校舎がある
学校は数少ない
です。



昭和24年の児童
市川小に通学して
いました。



昭和60年
念願のプールが
できました。

議事の報告

第1回宮田小学校新校舎推進会議 会議概要	
日時	令和2年8月28日(水) 18:30~19:00
場所	宮田小学校 外国語教室
配布資料	第1回宮田小学校新校舎推進会議資料室 別添資料1~4 宮田小学校建物ボリューム検討資料 宮田小学校の各配置案
会議概要	
1. 新校舎推進会議委員の役割と今後の進め方について説明 2. 座長挨拶 3. 委員自己紹介 4. 協議 (1) アンケート結果の報告と分析 (2) 学校コンセプト(案) アンケート結果を基に整理される学校コンセプト(案)の説明を行った。	
【委員の意見概要】 ●座長 ○委員 ■事務局 ○宮田小学校を小学生の時に使用しており、不便に思うことが何点かあった。そのマイナス面をクリアにした方が、コンセプトの土台ができるのではないかと。具体的には、校庭が狭いことやプールが短いこと。また、講堂が4階であり、外階段から出入りする場合、鍵を管理する人がいないと使用できないこと。備品の収納場所がいろいろな場所にわかれていることなど。 ●現在の学校の課題の洗い出しも重要だと思う。例えばワークショップを行い、現況について話し合う場を設けることもある。 ○宮田小学校は街中の学校ということを考える必要があると思う。人との触れ合いが子供の成長につながるため、地域と学校のコネクションを強く持ち、地域が学校に積極的に関わっていく必要があると思う。 ●学校は地域の拠点という側面がある一方で開放した場合の学校の安全面も大事である。このことから学校開放の方法を検討する必要がある。 ○学校は、地域盆踊りなどで校庭を開放してくれている。学校行事に地域が参加できており、交流はできている。一方で地域防災機能が必要と考えるが、学校の入り口が狭いことが課題である。また、人口が増えない前提の中でこの学校・地域の30年後を見据え施設のあり方を検討することが大事。 ○体育館が4階にあり避難しにくい。建替え後に体育館を4階に設置したらエレベーターはつければいいか。 ●アクセスしやすさを考える必要はあるが、一斉の避難だとエレベーターは適さないと思う。体育館はできるだけ設地している方が望ましい。 ○校庭のトラックの真ん中に校舎を建てられないか。1階に体育館を設置し、扉を開放すれば、日差しも遮ることができる。 ●海外の事例はあるが、走る以外の競技で使用しにくいという課題がある。 ○他の小学校は、昇降口が幅広く、その奥が体育館であり、避難訓練でも使いやすかった。 ●各教室への音の対策は必要だが、体育館を校舎の中心に設置する事例もある。 ○南側に校舎を配置すると、今の校舎を使いながら、建物が完成できたら移るので引っ越しが1回で済む。子供たちは建替え中も通学するので負担は少ない方がよいと思う。	

●仮設校舎を建てず、今の子どもたちに負担をかけないことも大事だが、一方で、今後長く使うことを考え、理想的な施設とすることも大事。メリット・デメリット比較しつつ決めていくことになる。材料の搬入など工事期間中の校庭の使用は難しい。代替地を使用する必要が出てくる。
 ○在学中の児童の運動の権利を奪わないようにすることが必要である。工事中の3年間は宮田小学校の校庭が使えなければ、大洲小学校の校庭の半分を使用することは可能と考える。
 ●事務局から、工事による学校運営への支障について何かあるか。
 ■配置計画により変わるが、校庭の確保について大洲小に依頼をした。今後も、できるだけ教育活動に支障がないように進めていきたいと考える。
 ○東側と西側に児童を移動させ部分的に壊す校舎を使用することで仮設を造らなくてもいいのではないかと。
 ●この配置案では既存の校舎を部分的に壊して使用することは考えていないが、その案も考えられる。
 ○校庭に日が当たらないのは寂しいと思う。プールは熱中症対策のため、屋内という案もある。体育館が1階は水が上がってくると使用できないので2階に設置してもいいのではないかと。
 ○プールは夏しか使わないのはもったいない。避難所のお風呂などのため、体育館の下にプールがあると使いやすいのではないかと。
 ●プールは温室にして市民プールと共同利用や、民間施設の利用、学校の拠点化などの実例がある。
 ■宮田小学校のプール施設をどのようにするかは決まっていない。現在、教育委員会で市川市内の全ての小中学校のプールの方針を作成しており、それと整合を図りながら宮田小学校のプール施設については整理していきたい。

こんな校舎があったら

座長の柳澤教授・千葉大学大学院工学研究院の皆さんと子どもたちの授業を行います。

新校舎に求めるものを、ディスカッションで明らかにしていきます。子どもたちがイメージする新しい校舎は、広さ重視 機能重視 家具や内装重視それとも・・・楽しみです。

日時 9月25日(金) 9:30~ 1・2・3年対象
9月29日(火) 9:30~ 4・5・6年対象
場所 各教室